

エコアクション21



環境活動レポート

2010年度版

(2010,4~2011,3)

がんばろう! 東北!



「本当の環境保全を考えたい」が
私たちの根底にあります。



株式会社一般公害集配センター

作成日：平成23年9月25日

目次

1 . 環境方針	1
2 . 事業活動の概要	2
3 . コアアクション 21 実施体制	3
実施体制における役割と責任・権限	4
4 . 事業の規模	5
受託した産業廃棄物の処理量	6
5 . 環境目標と実績	7
6 . 環境活動計画	8
7 . 環境活動の取組み結果と評価	9~10
8 . 環境管理責任者 / 代表者の評価	11
9 . 環境関連法規遵守	12
10 . 事業沿革と事業内容	13~14
許可証・登録・認定の内容	15
資格一覧表	16~17
中間処理施設の概要	18~19
事業内容・一般廃棄物業	20
事業内容・産業廃棄物業	21
事業内容・リサイクル業（再生資源）	22
11 . 緊急事態の想定訓練・安全講習会	23~24
12 . アクセス MAP・お見積り案内	25

1、環境方針

〈基本理念〉

株式会社 一般公害集配センターは、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を基本とし、人類共通の最重要課題の1つである地球環境の保全に取り組めます。

〈方針〉

株式会社 一般公害集配センターは、一般廃棄物・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の処理、鉄・非鉄金属、廃プラスチック類の売買など、運搬から処理、リサイクル業務に係わる全ての事業活動による環境負荷(デメリット)を低減するために次の方針に基づき環境経営活動を推進して、地球環境との調和を目指します。

- 1 事業活動に係わる環境影響を常に意識し、自主的、積極的に環境を守る取組みと継続的な環境負荷の削減を図ります。
- 2 事業活動に係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
- 3 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理の重点テーマとして取り組めます。
 - (1) 取り扱い廃棄物を徹底分別し、リサイクルに努めます。
 - (2) 水道光熱費の使用量削減に取り組めます。
 - (3) 事務用紙廃棄量の削減やグリーン購入の推進に努めます。
 - (4) 地域との連携を密にし、地域の環境美化に協力していきます。
 - (5) 事業活動を通じて発生する二酸化炭素・廃棄物・排水の削減を推進します。
- 4 ひとりひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知するとともに環境レポートで社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムの継続的な改善に取り組む、汚染などの予防も図ります。



平成22年10月20日

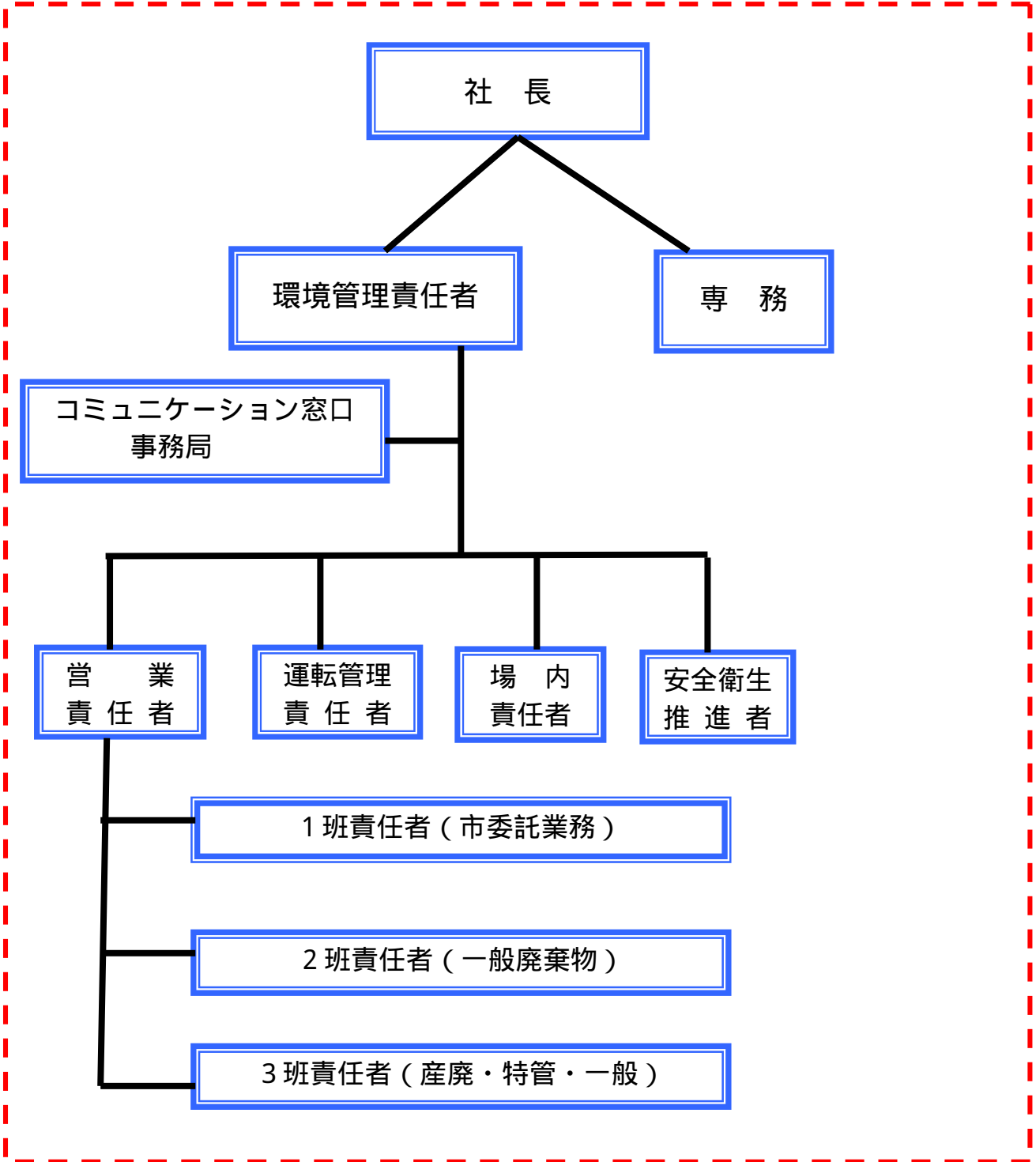
株式会社 一般公害集配センター
代表取締役 狩野 勝彦

2、事業活動の概要

会社名	株式会社 一般公害集配センター	代表者名	代表取締役 狩野 勝彦		
所在地	岩手県一関市萩荘字上本郷 149 番地 7				
HPアドレス	http://www.iks-c.co.jp				
環境管理責任者	千葉 年勝				
環境管理責任者	E mail iks@mtd.biglobe.ne.jp				
連絡先	電話 0191(38)2355 FAX 0191(38)2356				
設立	昭和 52 年 7 月	資本金	1,000 万円	社員数	26 名
車両台数	脱着装置付コンテナ専用車3台・キャブオーバー2台・塵芥車8台・ 清掃車1台・ダンプ2台・冷凍冷蔵車1台 他				
事業内容	一般廃棄物処理業、 産業廃棄物収集運搬業、 産業廃棄物中間処理業、 リサイクル回収業(古紙・鉄・非鉄・ビン・プラスチック類) 自動車リサイクル認定工場(引取・回収・解体) 一関市委託業務、 家電リサイクル対象品収集運搬、 計量証明事業 他				
所属団体	日本廃棄物処理施設技術管理者協議会 (財)岩手県産業廃棄物協会 岩手県産業廃棄物処理業者育成センター 東日本自動車解体協同組合 岩手県自動車解体協同組合 岩手県再生資源商工組合 他				

3、エコアクション21の実施体制

平成 22 年 10 月 20 日付
株式会社一般公害集配センター
代表取締役 狩野 勝彦



実施体制における役割と責任・権限

平成 22 年 10 月 20 日付
株式会社一般公害集配センター
代表取締役 狩野 勝彦

役 割	担 当 者	責 任 ・ 権 限
代 表 者	狩 野 勝 彦	<p>環境管理責任者を任命する。</p> <p>環境管理責任者からの報告を受けて、全体の見直しを行う。</p> <p>取組みに対する資源を用意する。</p>
取 締 役 員	狩 野 富 美 子	役員会議等で全体の見直しを行う。
環境管理責任者	千 葉 年 勝	<p>代表者に代わってシステムを構築し、運用する。</p> <p>代表者に結果を報告する。</p>
部門責任者	<p style="text-align: center;">営業責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 班 責 任 者 ・ 2 班 責 任 者 ・ 3 班 責 任 者 <p style="text-align: center;">運転管理責任者</p> <p style="text-align: center;">場内責任者</p> <p style="text-align: center;">安全衛生推進者</p>	<p>各部門内において、～ に取組む。</p> <p>省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。</p> <p>EA21 目標達成の取組みを推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行う。</p> <p>公害防止、緊急事態への予防処置を行う。</p>
コミュニケーション窓口 (事務局)	千 葉 年 勝 事 務	<p>環境管理責任者を補佐する。</p> <p>部門から報告を受け、文書記録類を作成する。</p> <p>地域住民、関連機関からの苦情等に対するコミュニケーションを取り、対応内容を記録し、環境管理責任者に報告する。</p>
社 員		<p>部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。</p> <p>EA21 取組みに関する教育訓練を受ける。</p> <p>自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。</p>

4、事業の規模

	単位	H20 年度	H21 年度	H22 年度
一般廃棄物 (可燃物) 収集運搬量	t	1,147.53	1,147.69	1,376.70
産業廃棄物 収集運搬量		138,450	122,400	130,600
(汚泥)	t	-	-	17.37
産業廃棄物 収集運搬量		8,800	14,440	9,480
(非感)	t	-	-	21.13
産業廃棄物収集 運搬量		3,280	6,220	6,460
(特別管理)	t	-	-	66.42
産業廃棄物 収集運搬量	t	142.7	423.0	135.89
(その他)				
産業廃棄物 中間処理量	t	17.10	18.32	27.13
売上高	百万円	133	130	132
従業員	人	25	23	26
事業場面積	m ²	7,545.99	7,545.99	7,545.99

・ 事業年度について

売上高は平成 22,7～平成 23,6 までとし、売上高以外は平成 22,4～平成 23,3 までの期間とする。

受託した産業廃棄物の処理量

平成 22 年度(平成 22 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量	
収集運搬	(木くず)	/	9.44t	
	(がれき類)		0.11t	
	廃発泡スチロール		24.1t	
	脱水汚泥		4.07t	
	無機汚泥		66.3kl	
			17.13t	
	有機汚泥		64.3kl	
			0.24t	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず		15.93t	
	金属くず		10.49t	
	廃酸		0.02t	
	廃アルカリ		1.34t	
	廃油		1.64t	
	廃プラスチック類		68.75t	
	非感染性		9.48kl	
	21.13t			
	6.46kl			
	66.42t			
収集運搬量合計			240.81t	
			146.54kl	
中間処理	廃発泡スチロール	(溶融固化(電熱ヒーター方式))	27.13t	
			0	
			0	
			0	
	うち再資源化等	(インゴット)	(溶融固化(電熱ヒーター方式))	21.869t
				0
				0
		0		
	再資源化等量小計		21.869t	
中間処理合計			27.13t	

5、環境目標と実績

(1) 12 ヶ月間数値目標と取組み結果 (目標 対前年度比 1 % 減 のみ 1 プラス : 対象月日 H22,4/1 ~ H23,3/31)

項 目	単 位	基準値 (前年同期)	目標値	実績値	達成の 可否	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ²	267,520	264,844	276,319	×	
電気使用量削減	kwh	56,835	56,266	60,759	×	
燃 料	車両燃料使用量削減	88,995	88,105	91,242	×	
	LP ガス使用量削減	m ³	41.2	40.7	33.2	
	灯油使用量削減	1,528	1,512	1,762	×	
コピー用紙使用量削減	枚	32,373	32,049	32,899	×	
水使用量削減	m ³	48	47	37		
廃棄物抑制		27,000	26,730	28,000	×	
グリーン購入の推進	品目	13	14	12	×	
地域環境への貢献	回	20	21	21		

(2) 短期及び中期数値目標 (目標 対前年度比 1 % 減 : 対象周期 4/1 ~ 3/31)

項 目	単 位	平成 21 年度 実績基準値	平成 22 年度 目 標	平成 23 年度 目 標	平成 24 年度 目 標	
二酸化炭素排出削減	kg-CO ²	267,520	264,844	262,195	259,573	
電気使用量削減	kwh	56,835	56,266	55,663	55,106	
燃 料	車両燃料使用量削減	88,995	88,105	87,223	86,350	
	LP ガス使用量削減	m ³	41.2	40.7	40.2	39.7
	灯油使用量削減	1,528	1,512	1,496	1,481	
コピー用紙使用量削減	枚	32,373	32,049	31,728	31,410	
水使用量削減	m ³	48	47	46	45	
廃棄物削減		27,000	26,730	26,462	26,197	

(3) その他の取組み (目標 対前年度同期実績に 1 プラス : 対象周期 4/1 ~ 3/31)

- ・グリーン購入の推進。
- ・地域環境への貢献。

項 目	単 位	平成 21 年度 実績基準値	平成 22 年度 目 標	平成 23 年度 目 標	平成 24 年度 目 標
グリーン購入の推進	品目	13	14	15	16
地域環境への貢献	回	20	21	22	23

6、環境活動計画

環境活動計画及び具体的取組みを次のとおり策定した。

電気使用量の削減【目標値：前年同期の - 1.0%】

電 気

- ・ 昼休み時間の消灯、不用な電気の消灯。
- ・ 事務所や社員室の冷暖房設定を適正化する。
- ・ エアコンフィルターの清掃等を定期的に行う。

パソコン

- ・ 自動、または手動で省エネモードに切り替える。
- ・ 退社時は電源を切る。

燃料使用量の削減【目標値：前年同期の - 1.0%】

車両燃料

- ・ アイドリングストップの励行。
- ・ 急発進、急加速、空ぶかしをしない。
- ・ 車両使用前に点検を行う。
- ・ 余裕をもった車間距離で、一定速度での走行を心がける。

LP ガス

- ・ お湯の無駄使いをしない。

灯 油

- ・ 暖房の適正温度を守る。
- ・ 退出時は電源を切る。

コピー用紙使用量の削減【目標値：前年同期の - 1.0%】

コピー用紙

- ・ 両面コピーの徹底。
- ・ 裏紙の活用。

水使用量の削減【目標値：前年同期の - 1.0%】

水 道

- ・ 生活用水を出しっぱなしにしない等節水に努める。
- ・ 洗剤等は環境に負荷の少ないものを使用する。

廃棄物発生の抑制【目標値：前年同期の - 1.0%】

廃棄物

- ・ お客さまへ返却する書類封筒の簡素化の検討。
- ・ ゴミを分別してリサイクルに努める。
- ・ 社内の清掃活動や整理整頓。

グリーン購入の推進【目標値：前年同期の + 1 品目】

事務用品等

- ・ 事務用品はグリーン商品を購入する。
- ・ 自社の名刺、パンフレット等の再生紙化の検討及び使用。

地域環境への貢献【目標値：前年同期の + 1 回】

地域環境活動

- ・ 地域小中学校や自治体の廃品回収の受入れをする。
- ・ 地域で廃棄物に関する講習等が開かれる場合には、優先的に参加する。

7、環境活動の取組結果と評価

(1) 取組評価



節電の呼びかけ表示

電気使用量の削減について・・・目標達成 ×

- ・節電の呼びかけ表示の掲示。
- ・中間処理施設の稼働率が高いことによる使用量の増加であると考えられる。
- ・昼休みや外出時等の節電の呼びかけを再度行う。

使用量の削減について

車両燃料・・・目標達成 ×

- ・受注量の増加により、燃料使用が増えた為と考えられる。
- ・引き続き運行前の点検やエコドライブの呼びかけをする。



LP ガス燃料・・・目標達成

- ・お湯の出しっぱなしが無くなったためと考えられる。



灯油燃料・・・目標達成 ×

- ・寒い期間が例年よりあったためと考えられる。再度呼びかけの必要がある。

コピー用紙使用量の削減について・・・目標達成 ×

- ・社内控えの資料は両面印刷や裏面使用になった。
- ・見積書などメール添付が出来るものは活用する。

(PDFソフトの導入)

- ・再度呼びかけの必要がある。



裏紙使用



節水の呼びかけ表示

水使用量の削減について・・・目標達成

- ・目標達成出来たが、引き続き節水の呼びかけ表示の掲示。

廃棄物の削減について・・・目標達成 ×

- ・ 郵送に頼らず、回収時等に直接返却出来る場合は返却した。
- ・ 繰り返し使用できるケースや封筒の取り入れも実施中。



側溝マスの清掃



全員での場内清掃



封筒等の再利用



トラックスケールの清掃

- ・ 会社場内の汚泥処理等は、清掃活動の一環なので今後も状況を確認しながら行う。

グリーン購入の推進について・・・目標達成 ×

- ・ グリーン商品購入の呼びかけをする。



可能な限りグリーン商品の購入

地域環境への貢献について・・・目標達成

- ・ 廃品回収の受入れ。
- ・ 会社付近の清掃。



会社付近の清掃

8、環境管理責任者/代表者の評価

環境管理責任者による12ヶ月間の取組総合評価

電気使用量 車両燃料については、受注量増加より車輛・設備の稼働率が上がった為と思われる。

コピー用紙使用量 グリーン購入については、目標クリア出来なかったので再度呼びかけが必要である

廃棄物抑制については、特に汚泥処理が係わるため、環境を整える上では、止むを得ないと思う。その他分別できる廃棄物についてはこれまで通り分別し資源化に努める。

業務の受諾量等により変動する部分もあるが、今後も全体ミーティング等でEA21の趣旨及び環境への意識を高め、目標達成出来るようエコ活動に取り組んでいきたい。

社長による全体の評価

エコアクション21の本格的な運用がスタートしました。施設の新施などに伴い、なかなか思うような結果に繋がらなかったのが現状です。当面は平成21年度をベースに経過観察をし、社員一人一人の意識を高めるシステムの構築など、運営上の環境を整理していきたいと思えます。

9、環境関連法規遵守

	関連法	法規制内容
1	廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 排出抑制・分別等 管理伝票の運用・保管・報告 廃棄物再生利用登録 他
2	労働安全衛生法	労働災害の防止 安全衛生管理 他
3	労働基準法	労働条件の明示 休日・休憩 他
3	消防法	危険物取扱 消防の設備 他
4	家電リサイクル法	特定家庭用品機器の収集運搬 他
5	自動車リサイクル法	フロン回収 使用済自動車引取・解体 他
6	特定製品に係るフロン類の回収 及び破壊の実施の確保等に関する法律	フロン回収
7	道路交通法	運転管理者の選任 他
8	その他の要求事項	地域住民等からの要求 他

弊社に関連する主な法規等は上記の通りです。1~7の法規等の入手方法は、様々な講習会や資料、法規等の本またインターネット等があります。8につきましては、地域住民・取引先・行政からの要求を受け、その都度行動します。

年1回、関連法規遵守チェック表をもとに環境管理責任者によるチェックを実施しております。違法行為や、行政からの指導・勧告等も受けず、住民からの苦情、訴訟等もありませんでした。今後も管理体制を強化し、チェックして行きます。

10、沿革と事業内容

- 昭和 52 年 7 月 一般公害集配センター 設立
- 昭和 56 年 8 月 産業廃棄物(廃プラスチック類)収集運搬許可取得 第 163 号
- 昭和 57 年 2 月 一関市 一般廃棄物収集運搬業許可取得 第 5 号
- 昭和 60 年 11 月 有限会社 一般公害集配センター 法人にする。
- 平成 元年 2 月 岩手県 産業廃棄物収集運搬業許可取得 第 0314000624 号
岩手県 産業廃棄物処分業(溶融固化)許可取得 第 0324000624 号
- 平成 2 年 4 月 一関市 不燃物回収委託業務 開始
- 平成 4 年 11 月 岩手県 産業廃棄物処分業(焼却処理)追加許可
- 平成 5 年 4 月 一関市 資源物、粗大物回収委託業務 開始
- 6 月 岩手県 特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可取得 第 0354000624 号
岩手県 特別管理産業廃棄物処分業(焼却処理) 許可取得 第 0374000624 号
- 平成 6 年 8 月 東磐環境組合 一般廃棄物収集運搬業許可取得 第 9 号
- 平成 11 年 7 月 岩手県フロンガス回収協力店に認定 岩フ協第 0124 号
- 平成 12 年 4 月 一関市 可燃物回収業務委託 開始
- 6 月 計量証明事業登録 第 99 号 事業区分(質量)
- 平成 13 年 3 月 北上市、水沢市 廃家電 4 品目収集運搬業許可取得
- 平成 14 年 8 月 フロン類回収事業登録 第一種 第 051018 号、第二種 第 053002 号
第二種特定製品引取業者登録 第 052009 号
- 平成 15 年 1 月 産業廃棄物、特別管理産業廃棄物処分業(焼却処理)廃止
- 7 月 宮城県 産業廃棄物収集運搬業許可取得 第 0400000624 号
宮城県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得 第 0450000624 号
- 平成 16 年 3 月 岩手県産業廃棄物処理業者育成センター 基準適合産業廃棄物処理業者認定制度
第 2003-064 号
- 7 月 使用済自動車引取業者登録 第 20031050004 号
第二種フロン類回収業者登録 第 20032050004 号
- 8 月 (財)自動車リサイクル促進センター 事業者登録完了
- 12 月 岩手県 解体業(使用済自動車再資源化)許可取得 第 20033050004 号
- 平成 17 年 6 月 岩手県産業廃棄物収集運搬積替え保管追加(廃油・廃アルカリ・廃プラスチック類)
登録番号 第 0364000624 号
- 7 月 再生事業者登録(廃棄物再生利用登録) 第 14 号
- 平成 18 年 1 月 破砕・リサイクル施設技術管理士 取得 認定番号 018786 号
認定番号 018787 号
- 5 月 再生資源回収業者認定証 取得 認定番号 03 00504 号
- 7 月 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 取得 認定番号 020107 号
- 10 月 株式会社 一般公害集配センター 社名変更する。

- 平成 19 年 1 月 エコスタッフ認定 認定番号 18-187 番
 3 月 奥州市 一般廃棄物収集運搬業、追加 第 887-2 号
 7 月 第二種特定製品引取業 第 052009 号廃止、自動車リサイクル法に移行する
 8 月 法改正、第一種フロン類回収業者登録更新 第 051018 号
 9 月 PCB 廃棄物収集運搬業従事者講習修得 第 P0701026 号
 特別管理産業廃棄物管理責任者取得 第 907057075 号
 11 月 岩手県、産廃・特管収集及び処理業許可番号が 10 桁から 11 桁へ更新
- 平成 20 年 2 月 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 取得 認定番号 025151 号
 岩手県産業廃棄物処理業者育成センター 基準適合産業廃棄物処理業者認定制度
 第 2008-014 号 収集運搬(積・保) 処理(中間) 認定
 3 月 一関市全域、一般廃棄物収集運搬業許可統一 第 12016 号 旧許可書廃止
 4 月 中核都市、盛岡市内産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬許可
 産廃 第 11002000624 号 特管 第 11052000624 号
 6 月 岩手県 特別管理産業廃棄物収集運搬業 第 00364000624 号 更新
 盛岡市 特別管理産業廃棄物収集運搬業 第 11052000624 号 更新
 7 月 宮城県 産業廃棄物収集運搬業 第 0400000624 号 更新
- 平成 21 年 2 月 岩手県 産業廃棄物収集運搬業 第 00314000624 号 更新
 盛岡市 産業廃棄物収集運搬業 第 11002000624 号 更新
 岩手県 産業廃棄物中間処分業 第 00324000624 号 更新
 5 月 岩手県 産業廃棄物中間処分業 第 00324000624 号 追加
 (現行) 発泡スチロール類 溶融固化処理(中間処理)
 (追加) 廃プラスチック類 破砕リサイクル処理(中間処理)
 (追加) 廃プラスチック類・古紙類 圧縮リサイクル処理(中間処理)
 再生資源回収業者認定証 更新 認定番号 N03 K00504 号
 6 月 岩手県産業廃棄物処理業者育成センター 基準適合産業廃棄物処理業者認定制度
 第 2009-037 号
- 平成 22 年 2 月 エコアクション 21 認証・登録番号 0004625
 10 月 代表取締役の変更(狩野勝哉から狩野勝彦へ変更)
 エコドライブ終了 終了番号 10-県南広保-34
- 平成 23 年 1 月 エコスタッフ認定 認定番号 22 盛広保-9

現在に至る

許可証・登録・認定の内容

岩手県 産業廃棄物収集運搬許可	許可番号00314000624	有効期限平成26年2月26日
盛岡市 産業廃棄物収集運搬許可	許可番号11002000624	有効期限平成26年2月26日
宮城県 産業廃棄物収集運搬許可	許可番号 0400000624	有効期限平成25年7月24日
岩手県特別管理産業廃棄物収集運搬許可	許可番号00364000624	有効期限平成25年6月29日
盛岡市特別管理産業廃棄物収集運搬許可	許可番号11052000624	有効期限平成25年6月29日
宮城県特別管理産業廃棄物収集運搬許可	許可番号 0450000624	有効期限平成25年7月24日
岩手県 産業廃棄物処分業許可	許可番号00324000624	有効期限平成26年2月26日
一関市一般廃棄物処理業許可証	第12002号	有効期限平成24年3月31日
奥州市一般廃棄物処理業許可証	第715-3号	有効期限平成23年3月31日
北上市一般廃棄物処理業許可証	第291号	有効期限平成23年3月31日
フロン類回収登録(第一種)	第051018号	有効期限平成24年8月6日
フロン類回収登録(第二種)	第20032050004号	有効期限平成24年8月7日
引取業者登録	第20031050004号	有効期限平成24年8月7日
解体業許可証	第20033050004号	有効期限平成26年12月21日
計量証明事業者登録	第99号	
廃棄物再生事業者登録	第14号	平成17年7月20日取得
再生資源回収事業者認定	第N03K-00504号	有効期限平成24年5月19日
基準適合産業廃棄物処理認定	認定岩手2009-037号 収集運搬 中間処理	有効期限平成23年6月29日
エコアクション認定・登録	0004625	有効期限平成24年2月14日
エコスタッフ認定(2名)	認定番号18-187	認定番号22盛広保-9
エコドライブ講習会(1名)	終了番号10-県南広保-34	

資格一覧表

株式会社 一般公害集配センター

主催者名	修了番号	講習会名(内容)	講習年月日	受講者数	
(財)日本環境衛生センター	第 025199	産業廃棄物焼却施設技術管理者認定講習	平成 7 年 1 月 21 日	1 名	
	第 880729 号	産業廃棄物処理業者に関する新規許可講習会研修会 処分課程	昭和 63 年 11 月 14 日	1 名	
	第 10510055 号 第 10510056 号	一般廃棄物収集運搬・処分業者講習	平成 17 年 10 月 19 日	2 名	
	第 018787 号 第 018786 号	破砕・リサイクル施設技術管理士	平成 18 年 1 月 19 日	2 名	
	第 025151 号	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	平成 20 年 2 月 1 日	1 名	
	第 10502001 号	産業廃棄物・リサイクル管理講習	平成 22 年 11 月 2 日	1 名	
	第 11006014 号	一般廃棄物実務責任者講習	平成 22 年 8 月 6 日	1 名	
	第 1014040 号 第 1014041 号	産業廃棄物処理実務者研修会 (基礎)コース	平成 22 年 12 月 21 日	2 名	
	(財)日本産業廃棄物処理振興センター	第 994103098 号	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	平成 6 年 11 月 4 日	1 名
		第 49225146 号	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会 処分課程	平成 5 年 6 月 3 日	1 名
第 39298039 号		産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会 収集運搬課程	平成 4 年 12 月 24 日	1 名	
第 394062046 号		特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会 収集運搬課程	平成 6 年 8 月 5 日	1 名	
第 994042088 号		特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	平成 6 年 7 月 22 日	1 名	
第 797088019 号		特別管理産業廃棄物処理業更新許可講習会 収集運搬	平成 9 年 7 月 10 日	1 名	
第 699063055 号		産業廃棄物処理業更新許可講習会 処分	平成 11 年 7 月 23 日	1 名	
第 502049074 号 第 502049075 号		産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会 収集運搬課程	平成 14 年 11 月 7 日	2 名	

	第 602102020 号	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業に関する新規許可講習会 処分課程	平成 14 年 11 月 8 日	2 名
	第 602102021 号			
	第 P0701026 号	PCB 廃棄物の収集運搬業作業従事者講習	平成 19 年 9 月 3 日	1 名
	第 907057075 号	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	平成 19 年 9 月 5 日	1 名
	第 507100018 号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可申請講習（更新）	平成 20 年 1 月 23 日	2 名
	第 607139017 号			
	第 607139019 号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理業許可申請講習（更新）	平成 20 年 1 月 24 日	2 名
第 607139018 号				
(社)全国産業廃棄物連合会		第 7 回医療廃棄物処理実務研修会	平成 7 年 11 月 1 日	1 名
日本環境斎苑協会	第 22010 号	火葬管理者研修会	平成 22 年 8 月 25 日	1 名
	第 2218 号	指定管理者制度研修会	平成 22 年 8 月 25 日	1 名
(社)計量計測技術センター	第 1225 号	一般主任計量者	平成 13 年 3 月 19 日	2 名
	第 1226 号			
	18-187 号	エコスタッフ認定	平成 19 年 1 月	1 名
	10-県南広保-34	エコドライブ修了	平成 22 年 10 月	1 名

中間処理施設の概要

1、圧縮梱包施設

設置場所 岩手県一関市萩荘字下本郷 151 番

設置年月日 平成 21 年 4 月 8 日

処理能力 紙くず 64.72 t / 日 (8.09 t / 時間)

廃プラ 84.8 t / 日 (10.6 t / 時間)

廃棄物の種類		保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備 考
処分のための保管	紙くず	2.00	24.00	18.67	5.60	屋内保管 (圧縮梱包処理棟) 束状保管
	廃プラスチック類 (軟質系)	1.50	18.00	11.25	3.94	屋内保管 (圧縮梱包処理棟) ポリ袋入り保管
処分後の保管	紙プレス製品(再生原料)		24.00	72.00		屋内保管 (圧縮梱包処理棟) 結束梱包処理品
	プラスチック製品		18.00	54.00		屋内保管 (圧縮梱包処理棟) 結束梱包処理品

2、破碎施設

設置場所 岩手県一関市萩荘字下本郷 151 番

設置年月日 平成 21 年 2 月 13 日

処理能力 3.6 t / 日 (0.45 t / 時間)

廃棄物の種類		保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備 考
処分のための保管	廃プラスチック類(硬質系)	1.75	20.30	14.18	4.96	屋内保管 (破碎処理棟) ポリ袋入り保管
処分後の保管	プラスチックフレコン製品		28.35	63.00		屋内保管 (破碎処理棟) フレコン詰め

3、溶融固化施設

設置場所 岩手県一関市萩荘字下本郷 149 番 7

設置年月日 平成 19 年 2 月 13 日

処理能力 0.96 t / 日 (0.12 t / 時間)

廃棄物の種類		保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備 考
処分のための保管	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る)		58.6	175.8	9.69	屋内保管
処分後の保管	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る)		37.37	112.11		屋内保管

一般廃棄物

すみよいまちづくりに
貢献します

許可「一関地区広域行政組合指令 第 12002 号」
「奥州市指令奥環 第 500 号」
「北上市指令 22 ク 第 110 - 4 号」一般廃棄物 収集運搬



4t パッカー車

一般廃棄物は大きく分けると家庭から出される生活系ごみと会社から出される事業系ごみの 2 つあり、さらにそれらは可燃物、不燃物、資源物、粗大ごみの 4 つに分けられます。昨今では各地で環境に及ぼす影響を考え、ごみの減量化を推進し、自治体による「資源ごみ」の分別回収によりごみの排出を抑制した取り組みが行われており、それに対応した回収につとめています。



可燃物 専用車両

回収対象物

可燃物(燃えるごみ)

(家庭系生ごみ、事業系ごみ、など)

古紙類(資源物)

(ダンボール、新聞、雑誌、牛乳パック)



ダンボール 専用車両

不燃物(非鉄・金属・混合物)

(おもちゃ、サインペン、混合体製品、など)

粗大物(大型製品)

(木製箆笥などの家具類、業務用機材など)

廃棄物専用容器を貸出しております。

廃棄物専用 移動型カートボックス



粗大物 車両



容積 200L

お客様のご要望にあわせて回収にお伺い致します。(定期回収、随時回収)

産業廃棄物

環境保全に努めます

産業廃棄物収集運搬許可

- 「盛岡市 第 11002000624 号」
- 「岩手県 第 00314000624 号」
- 「宮城県 第 0400000624 号」

特別管理産業廃棄物収集運搬許可

- 「盛岡市 第 11052000624 号」
- 「岩手県 第 00364000624 号」
- 「宮城県 第 0450000624 号」



2t 保冷車



パキューンパー

産業廃棄物 収集運搬

産業廃棄物はさまざまな業種の事業所から排出されるものです。分別種類が多く処理方法も多様です。廃棄する際は、排出者自身(事業者)がどのような廃棄物かを把握し、運搬業者及び処分業者に正しく伝えることが必要になります。

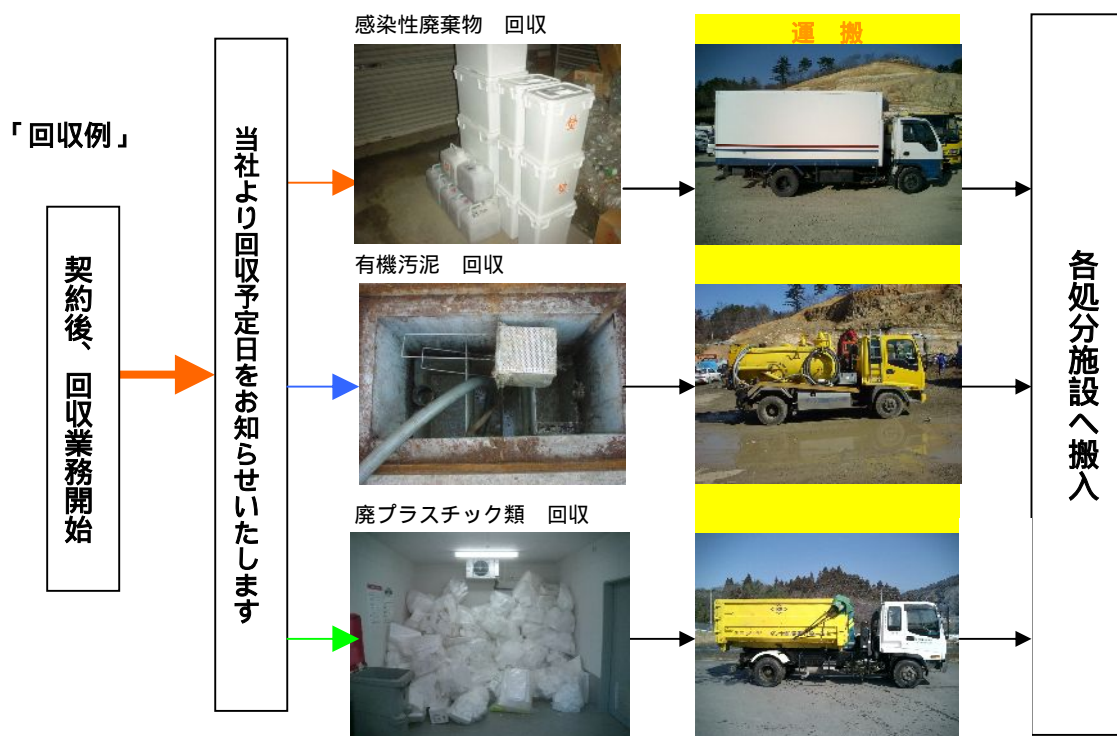
下記種類の廃棄物を処分場まで運搬いたします。

産業廃棄物

- ・ 廃プラスチック類・燃え殻・污泥・動植物性残さ・廃油・廃酸・廃アルカリ・
- ・ 紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・動植物性残さ・
- ・ コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類

特別管理産業廃棄物

- ・ 廃油・感染性廃棄物



リサイクル

- リデュース (発生の抑制)
- リユース (再使用)
- リサイクル (再生利用)

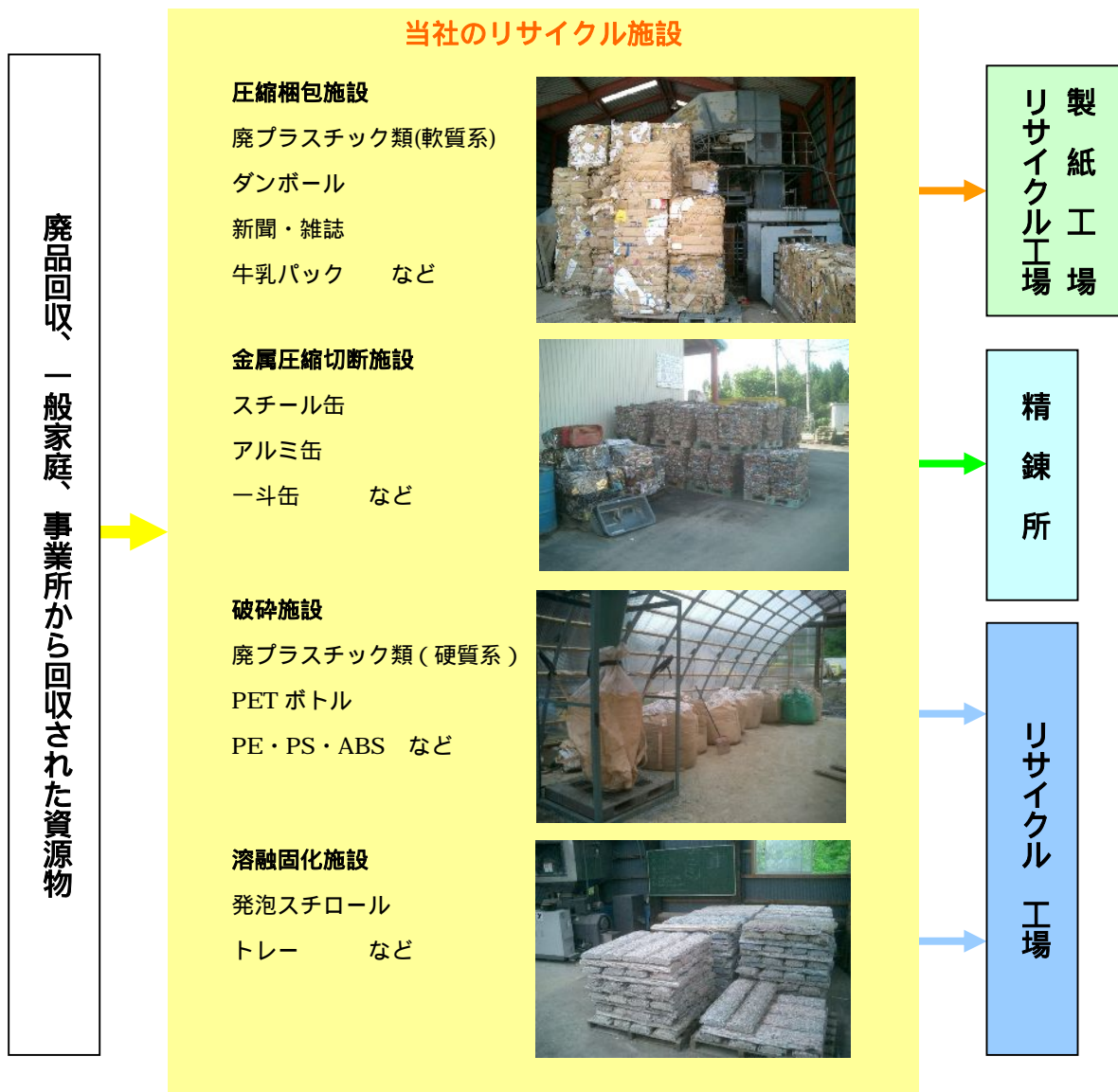


4t 7-ムロ-ル

リサイクル 回収業務

私たちの身近にあるものの多くは、木や金属や石油製品類などの限りある地球の資源から出来た物です。しかしながら、廃棄物のなかには資源物があります。

廃棄物を分別し再生資源を循環すれば、限りある資源の保護につながります。

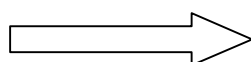


11、緊急事態の想定訓練・安全講習会

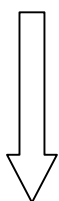
車両火災発生の訓練の様子



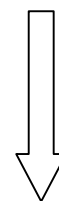
可能な限り広い
場所へ移動



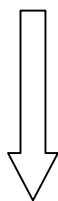
初期消火



運転手は無線で事故対策本部へ連絡
(現在地・火災の規模・けが人)
指示を受ける



安全な距離まで離れ、
ホッパーを開け廃棄
物を外に出す



役員や現場近くの各車両、一
関清掃センター等に連絡す
る。状況に応じては消防署へ
連絡する



運転手・助手
ともに消火活動

事故報告書の提出



フォークリフト安全講習会の様子

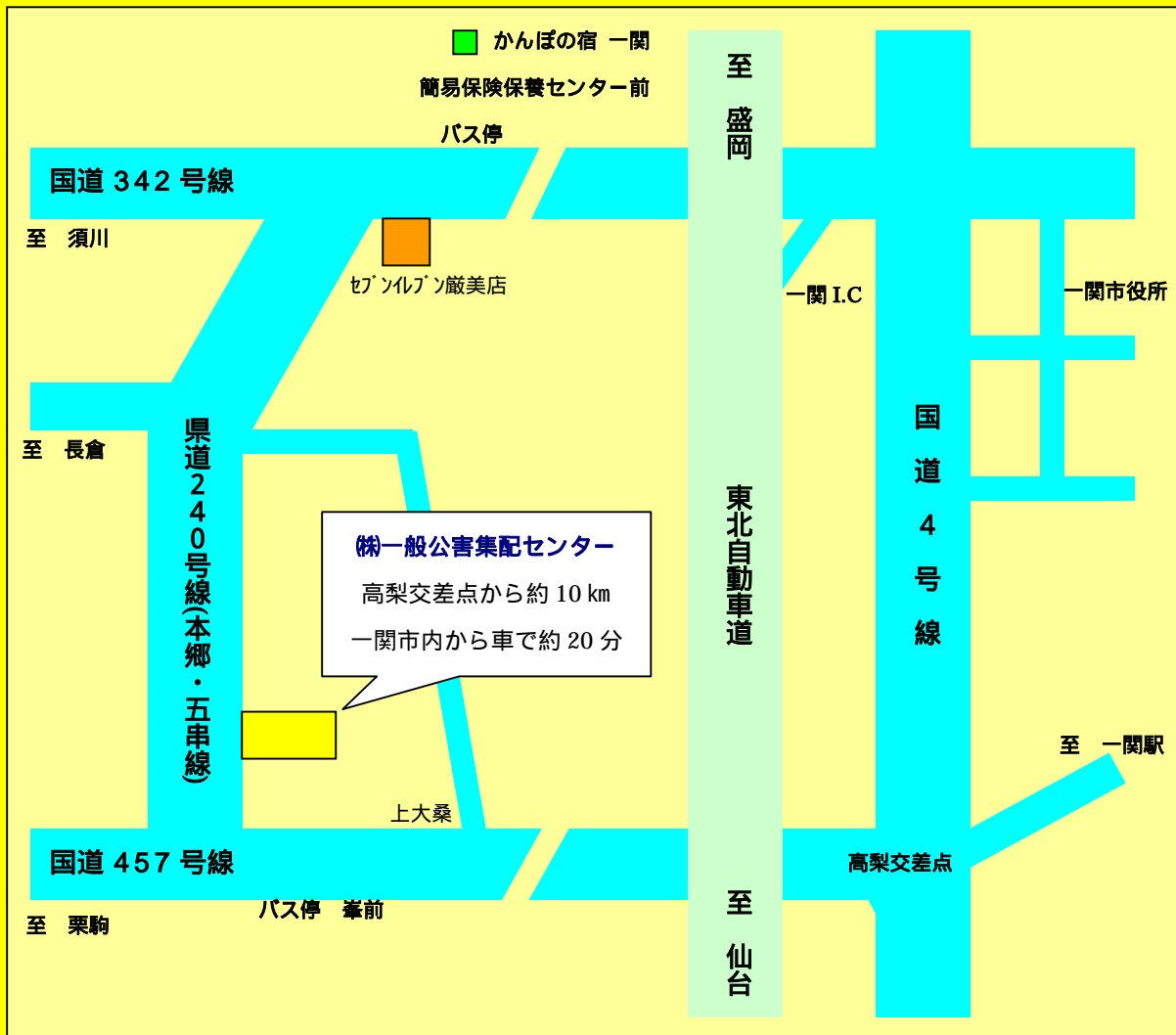
トヨタL&F岩手㈱一関営業所の講師の方々をお迎えし、第1回社内安全講習会を開催。



安全走行の方法やバッテリーの仕組みや取扱い等。映像や問題の出題、ヒヤリハット等の実例を交えての講習。



12. アクセス MAP



お見積りいたします！



収集運搬料金・処理料金につきましては、廃棄物の種類、数量、距離等により、お見積りいたします。

尚、お見積り申込みの専用用紙がございますので、電話・E-mail等でお気軽にご相談ください。